

各地の職場から

今回は「東京都の横田基地」で勤務し活躍されている方々を紹介합니다。

プロフィール

こばやし ふみえ 職場名：第374施設中隊
 職 種：管理専門職
 小林 文美江 趣 味：日本の素晴らしさを再発見する事



コメント

私は第374施設中隊で26年ほど勤務させていただいています。最初に横田基地で働くきっかけになった秘書職から、しばらくして同じ職場の前任者が定年退職したのを機にこの職に就かさせていただきました。部隊には多くの人が配属されており、たくさんの職人の皆さんや技師の方達とチームを組んで業務を進める上で、お互いの理解と協力が不可欠なものと認識しております。出身地も国籍も多様な皆さんから学ぶ事は毎日たくさんあり常に新鮮です。一般企業で働いていた期間も長かったのですが、こんなに素晴らしいオフィスの環境で働けて、また、たくさんチャレンジ精神を試される機会に恵まれ人間としても成長し続ける事ができ、とても幸運だと思います。時には制限のある時間内にたくさんの業務を終わらせなくてはならず大変に感じる時もありますが、その様な業務を達成できた際の達成感言葉では言い表せないほど清々しいものです。福利厚生においても、心身の健康を保つための交流の場や、レジリエンス（逆境や困難、強いストレスに直面した時に柔軟に適應する力）を高めるためのセッション

を積極的に提供してくれるこのような職場は、一般企業ではまだ多くないのではないのでしょうか。チームの皆さんの協力なしでは決して達成できない事も、関係者からの温かい協力があり無事終わる事ができます。良いチームと職場環境に恵まれ、またチームの皆さんが家族の様な職場環境で働けて幸運です。

我が部隊の業務は横田基地内の施設やインフラ設備はもちろんの事、その他東京都以外にある担当施設の設備管理、建物の修理及び建築工事等は多岐に渡ります。部隊内では米空軍に所属する兵隊の皆さんや、米国連邦政府の民間人従業員、業者の方々及びMLC従業員である我々が毎日協力しながら一緒に業務を遂行しています。管理専門職と言っても毎日同じ業務をするわけでもなく、いつも新しい業務に挑戦する機会に出会います。大勢の前でブリーフィングしたり、部隊の皆さんと地域にボランティアに携わったり、友好祭等で一致団結して部隊に貢献したり、自衛隊との共同訓練にも参加させていただきました。自分の意識の持ちようで決してずっと同じ事の繰り返しではなく常に進化し続けていける特別な職種だと思います。

プロフィール

つちやま のりあき 職場名：第374装備即応中隊
 職 種：トラクター・トレーラー運転手
 土山 法章 フォーマンB
 趣 味：草野球（投手）、ゴルフ



コメント

2003年から横田基地のGround Transportationに勤務しています。運転手として勤務していた際、東日本大震災が発生し、「トモダチ作戦（Operation Tomodachi）」にも従事しました。2017年からは運転手業務を卒業し、現在は車両運転手、重車両運転手、トラクタートレーラー運転手の3職種他、MLC：55名が働きやすい職場環境を目指して、管理職を務めています。

私たちGround Transportationの主な任務は以下の5つです。

1. 横田基地に発着する軍用機のパイロットやクルーの送迎
2. 日米間の会議や行事に出席する軍関係者の送迎
3. 横田基地内のシャトルバス運行
4. 「米国空軍太平洋音楽隊」の国内コンサートツアーにおける運転サポート
5. 基地内外への飛行機部品や軍用品、装備品の輸送

横田基地に配属される兵士は、2～3年の任期で異動が多いため、人員が頻繁に入れ替わります。特に若い兵士に対して、MLCの配車係やドライバーは

日本の道路事情（車線の違い、道路の狭さ）、日本人の特性や習慣、基本的な日本語などを丁寧に教え、彼らが困らないようにサポートしています。

また、都内（霞が関）などの複雑な道路状況における米国大使館、防衛省、外務省、その他多くの官公庁への運転は、兵士にとって大きな負担です。そのため、MLCの運転手がカバーしており、安全運転はもちろんのこと、乗り心地や指定時間の到着、早く着きそうな場合の時間調整など、細かな気配りを欠かさず、任務を円滑に遂行してくれています。彼らの協力には非常に感謝しています。

配車係の協力も不可欠ですが、私はMLCフォアマンとしてMLCと兵士の間に立ち、さまざまな問題を解決しながら、相互に協力できる環境を作っています。誰もが毎日職場に来たくなるような働きやすい環境を目指し、このGround Transportationという小さな職場から、日本とアメリカの友好関係をさらに深め、より強固な絆を築けるよう、今後も全力を尽くしたいと考えています。